

DONALD KEENE LONDON MASA AKI MIYAZAWA

2017/05/30-06/05

第三章

博士論文、近松門左衛門『国性爺合戦』翻訳と研究を巡って

8/17(金) - 12/23(日)

企画展示

近松門左衛門の『国性爺合戦』を博士号の研究論文に決めた思いや近松とシェークスピアの比較文学論「道行」の劇的重要性の発見、博士論文の原稿を旅先で盗難に遭うエピソード、傷心のキーン先生を励ましてのち親友となるデイキンズ夫人の思い出などを取り上げ、キーン先生を日本に導いたケンブリッジ時代を見つめます。

宮澤正明写真展

9月12日(水) - 12月23日(日)

ケンブリッジで過ごした5年間の忘れぬ思い出、忘れぬ人々の残像を探して大学街を歩いたキーン先生。宮澤正明は、キーン先生の思いや眩きが聞こえるような表情を撮りつづけてきました。旅の最後にキーン先生は、デイキンズ夫人の娘、ジェーンさんに会うため、ソールズベリーを訪ねます。その心の旅を写真で見つめます。

会場
—— Donald Keene Center ——
—— センター・柏崎 ——
2階企画展示室

主催◎公益財団法人ブルボン吉田記念財団
後援◎新潟県新潟県教育委員会、柏崎市教育委員会、東京府北区、東京府北区教育委員会、東京府北区立中央図書館、新潟日報社、BSN新潟放送、NST、TBS、NHK新潟、U-X新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、柏崎日報社、柏崎コミュニティ放送
協力◎ブルボン、弘明法印御伝記「ロンドン公演実行委員会」

ドナルド・キーン ロンドン 倫敦に還る。

ドナルド・キーン・センター・柏崎
二〇一八年度後期特別企画展



ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

www.donaldkeenecenter.jp





博士論文、近松門左衛門『国性爺合戦』翻訳と研究を巡って
企画展示

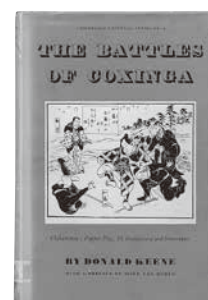
『国性爺合戦』
千里が竹虎狩りの段
撮影：河原久雄
協力：人形浄瑠璃文楽座

近松の最高の成功作は、正徳5年(1715)に初演された五幕物の人形芝居『国性爺合戦』であろう。筋書は、リアリズムのどんな標準に当てはめても、もう絶望的に荒唐無稽である。とてつもないファンタジーと超人的な力業の場面が、徹頭徹尾下世話の事件、あるいは父親と夫との間にはさまれる女の嘆きなどと混ざり合っている。この芝居が成功しているのは、とくに近松の天才的な人形の扱い方、すなわち人形の持つ限界を、逆に強みに変えてしまう才能のせいなのである。

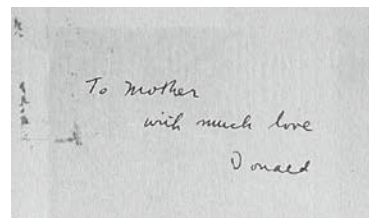
ドナルド・キーン著 金関寿夫訳
『日本文学における個性と型』『日本人の美意識』より
中央公論社

キーン先生が近松門左衛門の『国性爺合戦』の英訳に取りかかったのは、コロンビア大学大学院からハーヴァード大学に移った1947年秋でした。それから一年後の1948年秋には、ケンブリッジ大学へと研究の場を移し、『国性爺合戦』の英訳と研究は、博士論文として書き継いでいきました。この論文は1951年(昭和26)、『The Battles of Coxinga』としてロンドンのTaylor's Foreign Pressより出版され、これによりコロンビア大学の博士号を取得します。しかし、その博士論文は最後の仕上げの段階で盗難に遭い、忸怩たる思いで書き直さざるをえませんでした。その一方で、傷心のキーン先生を励まして、のちに親友となるディキンズ夫人と出会うことになるのです。

企画展示では、近松門左衛門『国性爺合戦』を博士号の研究論文に決めた思い、近松とシェークスピアの比較文学論、「道行」の劇的重要性の発見、ディキンズ夫人の思い出などを取り上げ、キーン先生を日本に導いたケンブリッジ時代を見つめます。



ドナルド・キーン著
『The Battles of Coxinga: Chikamatsu's Puppet Play, Its Background and Importance』
([国性爺合戦 - 近松門左衛門の人形浄瑠璃、その背景と重要性])
出版：Taylor's Foreign Press 1951年



上記本の見開きページにキーン先生の文字で、「To mother with much love. Donald」(母に愛をこめて)と書かれており、初めての出版となったこの本を母に捧げている。



『国性爺合戦』
千里が竹虎狩りの段
撮影：河原久雄
協力：人形浄瑠璃文楽座



宮澤正明写真展

ケンブリッジ時代、忘れえぬ思い出、
忘れえぬ人々

キーン先生は、ケンブリッジで過ごした5年間の忘れえぬ思い出、忘れえぬ人々の残像を探して大学街を歩きました。そのキーン先生の思いや眩きが聞こえるような表情を宮澤正明は撮りつづけてきました。旅の最後にキーン先生は、かけがえのない人だったディキンズ夫人の娘、ジェーン・ガーネットさんに会うため、ソールズベリーを訪ねました。その心の旅を写真で見つめます。



公益財団法人 ブルボン吉田記念財団
ドナルド・キーン・センター柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

新潟県柏崎市諏訪町10-17 TEL 0257-28-5755
www.donaldkeenecenter.jp

開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日・火曜日

12月26日～3月31日は冬季休館

入館料：大人500円・中高生200円・小学生100円
(入館料にて特別企画展を観覧できます。)